

## 成熟への勧め ピリピ人への手紙 4:8-9

香港JCF  
2010年8月1日

## I 心に留めるべきこと(8節)

1. 福音に反さないローマ文化・道徳への理解
2. 救済:キリストへの集中(3:8):特別恩寵
3. 創造:父なる神の愛(創1:28):一般恩寵
4. 信仰と文化(学・芸・職・道・宗)  
①反文化 ②世俗化 ③キリストによる変革と完成  
参)内村鑑三「代表的日本人」

## II 実践の重要性(9節)

1. パウロを通しての「教え」(弟子=ピリピ人)
2. 実践に関する聖書の「約束」  
①ヨシュア記1:7→勝利と約束の地の占有  
②マタイ7:24→ゆるぎない祝福の人生  
③マタイ28:20→神の人類救済計画への参加
3. 初代教会の愛の実践  
①使2:44 ②ヤコブ2:17 ③愛による宣教

## III 実践を可能にする聖書の言

1. 神のみ業の先行(エペソ2:8-10)
2. 命令から約束へ(ヨハネ14:12-13)
3. 古い自分の徹底的な無力さ(ロマ7:9-10)
4. 聖霊の決定的な助け(使1:8)
5. 交わりを通しての助け(ヘブル10:23-25)

## IV 避けるべき姿勢

1. 世俗主義:快楽・功利主義
2. 律法主義:ヒューマニズム・人間中心主義
3. 教条主義:「聖書の特定な解釈」の絶対化
4. 実践のない霊性と聖書の学び:隣人愛は?
5. 完全主義:神と人の境界線、個人的完全

## V 求めるべき姿勢(適用)

1. 神の愛とみ業への感謝と喜び:ピリピ書
2. キリストの十字架の徹底理解:パウロ書簡
3. み言の約束への信頼と祈り:積極的信仰
4. 十字架の福音・聖霊・小グループ:教会のDNA
5. 世に派遣し、神の国を拡大する信仰とビジョン  
主導の教会(自我の快適圏から解放)へ  
あなたは、み言の実践のため何が必要ですか?